

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

技術・家庭（技術分野）

教科用図書南那珂採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の3つの要素に沿って、「導入→基本ページ→学習のまとめ」という学習の流れの中で、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されるなど、構成・配列の工夫が見られる。
6 教 図	(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに、簡単な製作等を通して技能を習得する「つくって学ぼう」、計画を含めた設計を行う「じっくり学ぼう」、技術の評価を行う「学びを深め生かそう」という一連の流れの中で系統立てて学習を進めることができるようにするなど、構成・配列の工夫が見られる。
9 開隆堂	(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに、生活や社会の中にある技術に気付かせながら知識・技能を習得させ、それらを生かしながら「課題設定→設計・製作等→評価」という系統立てた一連の流れで問題解決を図り、振り返りながら定着させるなど、構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるためにどんな工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、一連の学習過程の中に、主体的に調べたり、周りと協働して比較・検討したりするための発問等を設けた「活動」コーナーを多く取り上げるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、科学的な思考に基づいた技術の原理・法則や基礎的な仕組みについての内容を裏付ける図版や、取り組む課題に応じて必要な技能を適切に選択できる写真等を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、持続可能な社会の構築に向け、技術の評価、適切な選択、管理・運用、新たな発想に基づいた改良を目的としたワークシートを掲載するなどの工夫が見られる。</p>
6 教 図	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、技術について調べさせ、考えさせる活動を取り入れ、まとめをグループで話し合わせるとともに、自らを振り返らせる「やってみよう」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、実習題材において、製作等の手順に沿った写真等を示し、基礎・基本的な技能を学ばせ、技術の科学的な原理・法則を理解させ、振り返らせるためのまとめのページを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各内容の問題解決の場面で設計・計画の流れを「問題発見→考える→具体化→まとめる」の4ステップにまとめるなどの工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、生徒が積極的に取り組めるような「導入課題」や活動を通して、他者との関わり合いをもてるようにするための「実験」「課題」を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、身近なものと結びついた問いかけや解説により、科学的な原理や仕組みなどの理解につなげるとともに、それらを生かした実践的な技能について説明するページを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、一連の学習を見通すことができるように「問題解決の流れ」を示し、学習した内容を生かせるように、関連した項目をページ数とともに示すなどの工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、問題解決に必要な技能をまとめた「TECH Lab」コーナーで大きく鮮明な写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視するために、「リンク」「他教科」「小学校」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。
6 教 図	(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、製作等の手順に沿って分かりやすく作業を進めることができるように、各工程に大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視するために、各内容の冒頭に「リンクマーク」と教科名を表示したりするなどの工夫が見られる。
9 開隆堂	(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、理解しやすいよう実際に作業をしているような大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視し、適切な場面で連携するために、「他教科」・「小学校」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

[観点4] 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 地域と連携した学習内容として、生物育成の技術で「地域の特産物を調べる」コーナーが設定されており、地域の気候や土壌に合わせて栽培することや継承することの大切さを学ぶことができる。また、技術に携わる人を「技術の匠」と紹介して、技術に対する思いを通して将来の職業や地域への愛着を育むための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、「導入→基本ページ→学習のまとめ」の中で製作や育成、活動のポイントを設けたり、技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで、科学的な思考に基づく知識の習熟が図られたりできるように工夫されている。</p>
6 教 図	<p>(1) 地域と連携した学習内容として、日本の伝統技術や日本の文化について考えられるコラムが設定されており、日本の伝統文化と技術との関係を学ぶことができる。また、巻末には先輩からのメッセージが掲載されており、将来の職業について学ぶことを通して地域への愛着をはぐくむための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、第1章で簡単な見本題材を製作して基礎知識、技能を習得し、第2章で、それを生かした設計・計画ができるように配置されており、一つひとつの題材の工程を丁寧に解説することで習熟が図られるように工夫されている。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 地域と連携した学習内容として、日本の特徴的な木の文化を支えた森林の育成技術についての学びがあり、巻末には日本各地の伝統的な技・材料・工芸 Map が設定されており、伝統技術、日本で生み出された技術について学ぶことができる。また、製作者や開発者の技術に対する思いを通して将来の職業や地域への愛着をはぐくむための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、第1章で基礎的な知識と技能を学習し、第2章で、それを生かしたものづくりに繋げている。また、分かりやすい図、イラスト、生徒目線の写真が配置されたり、基礎・基本的な内容の理解を助ける実験を用い、習熟が図られたりできるように工夫されている。</p>